

平成23年度第1回さぬき市男女共同参画推進協議会 会議要旨

- 1 日 時 平成23年5月12日(木) 13時30分～16時
- 2 場 所 さぬき市役所3階302会議室
- 3 出席者 【委員】柿木委員 亀井委員 工藤委員 小山委員 谷 委員 筒井委員
宮本委員
【事務局】総務部政策課 向井課長外2名
【傍聴】0名
- 4 会議次第 1 開会
2 会長あいさつ
3 議題
(1)平成23年度男女共同参画推進活動事業等実施計画について
(2)男女共同参画プラン進捗状況調査について
(3)男女共同参画推進活動事業市民企画事業について
(4)男女共同参画パネル展について
(5)次回会議のスケジュールについて
4 その他
5 閉会
- 5 配布資料 資料1 平成23年度男女共同参画推進活動事業等実施計画表
資料2-1 「さぬき市男女共同参画プラン」推進施策の実施状況調査票(案)
資料2-2 後期プランの基本施策に係る各目標の進行調査票(案)
資料3-1 市民企画事業募集要項(案)
資料3-2 市民企画事業募集チラシ(案)
資料4-1 平成23年度男女共同参画パネル展について(案)
資料4-2 第1回男女共同参画セミナー実施要項(案)
資料4-3 第1回男女共同参画セミナーチラシ(案)

6 会議内容

発言者	意見概要
事務局	(13:30)定刻がきたので開会する。原則公開の会議なので、今はいないが、傍聴希望者が来た場合は随時入っていただくのでよろしく願いしたい。
会長	<挨拶>
事務局	これからの進行は、会長にお願いする。
会長	では、議題に入る。議題1「平成23年度男女共同参画推進活動事業等実施計画」について、事務局、説明をお願いする。
事務局	資料1を使って事業の年間計画案を説明
会長	意見・質問があればお願いする。

委員	今年度の事業も、大体は、平成22年度にあわせているのか。
会長	少し違うと思うが、6月のパネル展や講演会については、行事としては昨年とほぼ同様である。
委員	6月と11月のパネル展の違いは、文化祭に参加するかどうかということか？会場は、昨年と同様に寒川なのか。
事務局	11月は、6月の展示物を絞り込んで展示するようになる。参加する文化祭は、極力多くとは考えているが、関係団体と相談したり、作品の状況を考えながら決めたい。
委員	<p>できれば、市長や議会、教育関係者と男女共同参画の推進等々について話し合う場を年に1回でも設けたい。ただし、(協議会委員の全員参加は難しいと思うので、)来れる方だけでいいと思う。その話し合いの中で、男女共同参画を推進していくためには、本庁内に、2名程度の職員で「男女共同参画推進室」を立ち上げることが、さぬき市の男女共同参画を進めていくことになるのではないかと、言いたい。</p> <p>4月の市議会議員選挙で配られた選挙公報に、男女共同参画に関することを書いている方がいた。議会などでどのような活動をするのか注目していきたい。(選挙公報で)言うだけでなく、やってくれるだろうとは思っているが、それに対して市長部局がどう対応するかだと思う。この会でも、議会の議事録ぐらいは読み、議会などでどのように男女共同参画の視点で意見を出すのか、行政当局がどのような対応をするのか見ていきたい。</p> <p>今年度、県は、必要なものに対しては、あえて部を新設したり、職員を増員している。さぬき市でも、男女共同参画推進室を設ける時期がきているのではないかと思う。</p>
会長	<p>今の提言は、男女共同参画の推進の根幹に関わる大事なことだと思う。行政の中での男女共同参画のポジションがどういうものであるかということはとても大事であり、議会議員がどのように推進する取り組みをしようとしているのかも大事だ。過去の記録では、男女共同参画と分かるような質問は少なかった。</p> <p>推進室の設置については、協議会では意見は出るが、今後の課題となったままである。事務局を通し、市長に提言できれば、と思う。また、市長や議会、教育委員会との交流も実現していきたいと思う。選挙公報に書かれたことを実現させていく活動をしているかどうかは、市民の義務としても見ていく必要があるだろう。</p>
委員	我々だけで話していても大きな影響は与えられないだろう。行政改革推進委員会などのような他の審議会でも(男女共同参画推進の視点で)発言することも大事だと思う。
会長	次の議題に入る。「男女共同参画プラン進捗状況調査」について、事務局、説明をお願いします。
事務局	資料2-1、2-2を使って、調査方法等を説明
会長	質問・意見をお願いします。
委員	「行政機関・付属機関等に占める女性の割合を増やします」だが、委員を決める

委員	<p>場合に団体に充てている場合があると思う。女性の数だけ増やせばいいのか。会議の中での発言の中身や回数の問題もあると思う。</p> <p>組織の役員を決める場合、女性に「いかがですか？」と言っても、だいたいが「できません」と返ってくる。そういうふうになってきているのかもしれないが、「私がやりましょうか？」という人がいない。しかし、(女性が)役員を担えば、驚くぐらいの力を発揮する。</p> <p>企業によっては、女性の管理職を増やす取組をしている。そこは、女性職員が30歳前後になったら、重点的に幹部候補としての訓練と意識の醸成に取り組んでいるようだ。また、ある女性社長の信条は、「一度引き受けたら愚痴を言わずに前向きに取り組むこと」だそうだ。女性の登用が進まないのは、女性に責任があると思う。女性の有権者が半分以上いるのに、女性議員が増えないのも一端だろう。女性自身が討議して現状を変える努力が必要だと思う。</p>
委員	<p>団体の代表になっている女性は、年齢が高い人が多い。したがって、あて職で委員になっている方も、ある程度の年齢以上の方だと思う。その年齢の方は、小さい頃から、一歩下がってという意識で育てられているから、会議では発言をためらうというのはあると思う。その下の世代では、自分の意見を表で言うことに慣れている方もある程度出てきている。したがって、団体の代表者の世代がもう少し若くなれば、少し変わる気がしている。また、女性が発言したときに、周りの男性が「女のくせに」という態度をして、(発言した女性が)「やっぱりだめよね」と下がってしまうこともあると思う。だからこそ、男女共同参画を根付かせる必要があると思う。</p> <p>トップになると人前で発言する機会が増え、いろんな意味で叩かれるので、一歩下がっているほうが楽、という考えもある。ずるいといえばずるいかも知れないが、性別に関わりなく、意見があっても人前で表現することが苦手な人もいる。まずは、グループでのチームワークをよくして、会議をうまく回せばいいと思う。もう少しすれば、積極的に発言する女性が出てくると思う。</p>
委員	<p>我々の世代は、頭のどこかに「女のくせに」という考えがある。男性のリードで世の中が動いてきた過去を持っているからだと思う。「女のくせに」という考えは卒業しないといけないだろう。ただ、卒業させる手立ては女性も考えなければならぬだろう。</p>
委員	<p>意見に対してではなく、「あなたは女だろう」という言い方であれば、話が前に進まない。会議では、意見に対する意見を出さないといけない。</p>
会長	<p>日本に、女性の社長は6万人ほどだそうだが、多いと思う？少ないと思う？</p>
委員	<p>多いと思った。先入観として、女性は少ないと思っていたからだ。</p>
会長	<p>6万人といっても(全体の)6%ほどだ。割合を聞くと少ないと思うだろう。物事のはじまりは、数が多いということは大事なことだと思う。数が少ないと動かしにくいことが多いからだ。また、会議の場合は運営の仕方にもよるが、委員の性別は関係なく、あくまで個人としての意見を容赦なく求めるようにすれば、本人が性別を意識せずに発言するきっかけになると思う。</p> <p>自治会等で女性が役員にならないとか、女性は責任をとりたがらない、という意見はよくある。これは、女性が前へ出てはいけない、という長い間培われた意識が</p>

委員	<p>強いからだと思う。「女が自治会長か」という意識は、地域だけではなく、行政も同様であった。これは、たった12年前のことである。今は、少しは改善されていると思うが、どんな場所でも男女の区別は歴然と残っていて、そんな中でも一生懸命生きてきた女性もいるのだし、逃げることはいけないと思う。</p> <p>女性が会議に出るには、子育てなどを終えてはじめて出てくることができる。一般的な社会との関わりを持ち続けた男性のように発言できるかといえば難しいこともあると思う。したがって、まずは数を増やし、質については、みんなで育ていけるように、男女共同参画の推進の中で（意識を）作り上げていければいいと思う。</p> <p>数の問題だが、多いということはとても重要だと思う。空気が大事だからだ。ここにいらっしゃる方は、元公務員の方が多と思う。私は民間の接客業を経験してきた。今、女性が社長になっているのは、百貨店など、物を売ったり、紹介していく業種が多いと思う。したがって、業種によって考え方が大いに違うと思う。</p> <p>私が経験したことは、皆さんの意見とは間逆だ。物を買うのは女性が多いので、女性にうけるアイデアが必要だからか、商品開発や流通などの会議で意見を出すのは女性で、クレームなどの責任をとるのも女性管理職であった。男性管理職もいたが、なかなか意見を出さなかった。私がいた業種は女性が多いので、女性がモノをいいやすかったのかかもしれない。人数による空気は大事だと思うので、数を確保することはとても重要だと思う。</p>
委員	<p>管理職の数だが、小学校の校長は女性が増えてきた。高校、大学などは今も男性管理職が多いが、時代を追ったら（女性管理職は）だんだん増えていくと思う。数を増やすことは、大事だと思う。海外では、議会議員のクォーター制を取り入れたことにより、かなり、女性の地位が向上している。それでも、女性と男性が同等になるにはまだ100年かかると言っていた。日本は、グローバルな世界についていけないといけないし、素晴らしい女性はたくさんいるので、まずは数から増やすということが大事だと思う。</p>
委員	<p>政治・経済など、決定の場に女性がいなかったらだめだし、（議会や会社で、女性が）決定する力を持つことが重要だと思う。数だけでは不十分だろう。</p> <p>事務局に尋ねるが、進捗状況調査の報告はどうなるのか。</p>
事務局	<p>協議会に報告するのが次の会議になる。また、男女共同参画推進本部にも報告する。</p>
委員	<p>「女性が」、「男性が」ということがおかしいと思う。個人として意見を出し合う雰囲気はほしい。人数割合を増やすことにこだわるよりも、（審議会の）中身をどう考えるのかという視点がほしいのだ。</p>
事務局	<p>現在、国は、社会のどんな分野においても、女性の割合を3割には引き上げようという目標を示している。さぬき市としては、それを超えて32.2%という目標を掲げ、女性への門戸を広げるという意味も含めて、まずは数のクリアを目指している。</p> <p>委員をあて職で指名することも多いのだが、その団体のトップになるということは、知識と意見を持ち、団体の皆様から信頼されていると考えているので声をかけている。たまたま女性がトップの団体が目立つが、男性がトップであっても同様の考え方である。委員の皆様には、性別に関わらず、所属する審議会の内容に興味を</p>

	持ち、様々な視点で意見を出してもらわなければ意味がない。したがって、(審議会委員は)男女半々という割合が理想だと思う。もし、女性の委員が意見を出しにくいのであれば、(審議会ごとに)運営方法を考えることも必要だと思う。
会長	続いて議題3に入る。「男女共同参画推進活動事業市民企画事業」について、事務局、説明をお願いします。
事務局	資料3-1、3-2を使って、募集スケジュール等を説明。また、選考審査員に、審議会から1名又は2名、選出いただきたい旨を説明
会長	事業の募集内容及び審査員に審議会委員を選出することについて、意見をお願いします。なお、審査員は、企画事業に応募する団体のメンバーでないことが条件である。
委員	<原案で賛成>
事務局	審査員は、この場で決まらないと思うので、6月20日ごろまでに協議会で互選し、会長を通して担当まで連絡いただけないだろうか。
会長	了解した。
会長	続いて議題4に入る。「男女共同参画パネル展」について、事務局、説明をお願いします。
事務局	資料4-1、4-2、4-3を使って、パネル展及び第1回男女共同参画セミナー(ミニイベント)の内容について説明
会長	まずは、男女共同参画パネル展についていかがか。
委員	セミナーをするのであれば、パネル展の規模などが変わってくると思うので、先にセミナーをするのかどうか決めないか?
会長	了解した。2つをするか、パネル展だけか、ミニイベントだけか、それを決めよう。 両方したほうがいいと思う方、挙手をお願いします。
委員	<挙手多数>
会長	両方することにする。 続いて、ミニイベントの場所と規模だが、301・302会議室で子どもと保護者20組ですか、小さな子どもを連れた方が3階まで上がるのが負担にならないかという考えもあるので1階の市民ホールですか、だが、どちらがいいか。
委員	土曜日は、エレベーターは使えないのか?
事務局	使える。
委員	安全面が気になる。パネルの近くでは危ないかもしれない。前回は配置でもめた。

事務局	イベントは土曜日に開催するので、その日のみ、パネルの配置をどうするかに対応になる。イベント参加者またはパネル展を見にきた方が来庁するだけなので、一般来庁舎への安全面での配慮はいらないと思う。
会長	25日だけパネルを移動させるということか？
事務局	それも考えられるということだ。
事務局	市民ホールでパネル展もイベントもするのであれば、パネルを窓際に寄せてしまって、はじめからスペースを空けておくことも考えられる。イベントの参加者数を減らすことも可能だ。
会長	このプログラムなら、(パネルを窓際に寄せても)狭いと思う。
委員	子どもが楽しめる親子ゲームであれば、子どもがある程度自由に動けるための何もないスペースが必要だ。パネルについては、期間中は、見やすいことを心がけた展示がいいと思う。
事務局	パネル展は1階で去年並みで開催し、イベントは3階で行うということによろしいか。
委員	イベントは、1階がいいと思う。妊娠中の方も来られるかも知れない。子どもの手を引いて妊娠中の方が3階まで行くのは大変だと思う。屋外での開催はいかがか。
委員	警備から考えると1階がいいかもしれない。
委員	1階がいいと思う。イベントの実施目的が「(パネル展の)観覧者を増やし」とあるので、お客さんが来やすい視点で考えればいい。パネル展とイベントが同じフロアならお客さんが見やすいし、入口付近で賑わいがあれば興味を引けるかもしれない。イベントの内容も、その考えに見合った内容を考えてもいいのではないか。
事務局	スタッフも出ているので、エレベーターに付き添えば、そんなに危険でないと思う。また、パネル展だけを見に来られる方もいらっしゃると思うので、パネルの前で賑やかにしていたら、逆に見にくいことも考えられる。安全が確保できるスペースで気兼ねなく実施したほうが楽しみも増えるかも知れない。また、通常の展示を、イベントのために押し込めるというのもおかしい気がする。
会長	子ども1人に対して保護者が1人とは限らない。読み聞かせだけとかにするのであれば別だが、やはりこのプログラムでは、パネル展とイベント会場は別のほうがいいのかも。屋外もいいが、梅雨の時期なので屋内のほうが無難だろう。
委員	妊娠している人が3階まで上がるのが大変、ということ自体考えられない。お母さんたちはたくましいのだ。
事務局	301・302で実施したいと思う。初めての取組なので、やってみて不都合があれば、来年度に向けて改善していきたい。

委員	読み聞かせは、専門の団体に頼むのか。
事務局	対応は可能だ。皆さんの意見を伺いたい。
委員	協議会委員がすればいい。委員でできるはずだ。読み聞かせは女性というイメージだが、男性委員が読むのもおもしろい。幼稚園でときどき行っているが、反応がいい。
委員	読むだけならできる。子どもが怖がるかも、だが。
委員	私も小学校で読み聞かせをしているが、保護者が読むのと、知らない誰かが読むのでは子どもの反応が全然違う。本の内容にもよるが、俳優になったつもりで掛け合わせで読みきかせると非常に反応がいいし喜んでくれる。読むほうも楽しい。
委員	OHCで映すと多くの人に見てもらえる。
委員	OHCやパワーポイントを使うと、声だけでなく、大勢の人に、絵も見てもらえるのでいいと思う。食いつきが違う。音楽を鳴らすのもいい。
事務局	先ほどから様々な意見が出ている。複数の部屋で絵本の読み聞かせをするのも面白いかもしれない。協議会が中心となってアイデアを出して啓発イベントを開催したい、という意見が多いのであれば、内容を考え直すことも可能だ。
委員	相談する期間が短いかもしれない。
事務局	短い、時間がないことはない。原案どおりでもいいし、考え直すことも可能ではある。委員の皆様の意見を聞きたい。
事務局	安全面から考えると、庁内のたくさんの会議室を使うことは現実的ではない。事務スペースには入ってもらいたくない。
委員	ワークショップと読み聞かせの組み合わせでいいと思う。原案のワークショップは、子どもの意見と保護者の意見の違いが見れそうなので面白そうだ。
事務局	読み聞かせ、ワークショップ、読み聞かせとしてもいいかもしれない。
会長	男女共同参画に寄与する、という意味で情報スペースを使っているのだから、利用登録している読み聞かせのグループに声をかけてみてはいかがか。
委員	参加した人に、何を感じて帰ってもらうかが重要だ。
事務局	パネル展の観覧者を増やすことが1つの狙いなので、イベントに来た人にはパネル展も見て、何かを感じてもらいたい。ワークショップは、男女共同参画をテーマにしているので、そこでも何かを感じてもらいたい。
委員	ワークショップで感じてもらうことは、男女の仕事ではなく、人間としての仕事という視点か。

会長	例えば、新幹線の運転手は男性というイメージが強いが、女性もいるよというコメントを添えることで意識が変わると思う。したがって、その場で臨機応変にやりとりをする必要があるだろう。また、読み聞かせは、啓発関係団体を増やすという意味で、登録団体に声かけしてもいいのではないかとということだ。
委員	ワークショップも読み聞かせも協議会でやればいい。頼む側の事務量のことも考えるべきだ。
事務局	パネル展は1階で、ミニイベントは25日に3階会議室で行う。内容は、原案どおりとし、読み聞かせについては情報スペースの登録団体(=読み聞かせ専門の団体)に問い合わせしてみる。ただし、登録団体の都合もあるので、ミニイベントの進行・運営・読み聞かせについては、原則、協議会で行うという整理でよろしいか。
委員	<異議なし>
委員	(ワークショップの)リハーサルが必要だ。
会長	22日にはリハーサル、13日からいろいろと準備をしましょう。委員の皆様は、仕事についてどんなものを選べばいいか考えてきてほしい。
事務局	パネル展の当番はどうするのか。
委員	してもいい。
会長	13日からの準備に出てきた委員で考えてみる。
事務局	準備に来る前には、政策課まで電話をいただくと都合がいい。
会長	ワークショップと読み聞かせのチーフを決めたほうがいい。読み聞かせの本はどうするのか。
事務局	男女共同参画の根本である「思いやり」を感じられる絵本を選ぶつもりだ。図書館で借りられる本が望ましい。読み聞かせをすることになった方々と協議したい。
委員	市販の本でないといけないのか。男女共同参画推進団体が作った絵本もある。
事務局	趣旨があえば、どんな本でもかまわない。
会長	チーフに戻るが、どうするか。
事務局	プログラムのイメージができている会長が適任だと思う。
会長	では、チーフが私で、副チーフを誰かに頼み、皆さんに協力をお願いすることでよろしいか。
委員	<異議なし>
会長	では、皆様へは、6月13日9時からの準備にできるだけ参加いただくこと、事

	<p>事務局へは、登録団体への読み聞かせの問い合わせをお願いします。ワークショップについては、わかりやすい進行表を作成して皆様にお渡しするとともに、22日にリハーサルを行うこととしたい。</p> <p>では、「次回会議のスケジュール」について、事務局説明をお願いします。</p>
事務局	<p>次回開催予定時期（8月下旬か9月上旬頃）などを説明</p>
会長	<p>その他の連絡はあるか？</p>
事務局	<p>なし</p>
会長	<p>以上で第1回さぬき市男女共同参画推進協議会を閉会する。（16：00）</p>